

令和2年度学校評価アンケートの結果と考察

① 令和2年度学校評価アンケートの結果

＜学校評価アンケートの結果＞

児童アンケートの結果

(単位:人)

NO		アンケート項目	4	3	2	1
全体に関する事	1	楽しく学校に通っていますか。	247	86	13	2
	2	夢や希望を持っていますか。	243	80	20	5
	3					
	4					
「知」の領域	5	授業中進んで学習していますか。	220	111	15	2
	6	進んで家庭学習をおこなっていますか。	227	103	16	2
	7	自分の考えを話し、学習していますか。	178	124	35	10
	8	友だちの意見を聞き、学習していますか。	256	77	10	5
「徳」の領域	9	自分から進んであいさつができますか。	275	57	13	2
	10	正しい言葉づかいができますか。	229	89	26	4
	11	友だちとなかよくしていますか。	294	46	6	2
	12	自分にもよいところがあると思いますか。	187	119	24	18
	13	友達にもよいところがあると思いますか。	317	24	5	1
「体」の領域	14	うがい・手洗い・歯みがきなどがきちんとできていますか。	277	65	6	0
	15	身の回りの安全に気をつけて行動できていますか。	276	62	6	3
	16	体育や休み時間などに進んで体を動かしていますか。	252	76	15	4
	17	食事のマナーを守り、好き嫌いをなく食べることができていますか。	243	74	32	4
	18	ルールを守り安全に登下校をしていますか。	286	52	7	3
	19	家に帰ったあと、ルールを守り安全に遊んでいますか。	309	31	4	3

保護者アンケートの結果

(単位:人)

NO		アンケート項目	4	3	2	1
全体に関する事	1	お子さんは、楽しく学校に通っていると思いますか。	205	118	14	0
	2	お子さんは、自分の将来に夢や希望を持っていますか。	126	154	52	5
	3	学校は、保護者に対して必要な情報を提供していますか。	161	157	19	0
	4	学校は、児童の安全に対して必要な指導を行っていますか。	206	125	7	0
「知」の領域	5	お子さんは、自分から進んで授業に取り組んでいると思いますか。	129	166	38	4
	6	お子さんは、進んで家庭学習に取り組んでいると思いますか。	95	149	79	14
	7	お子さんは、自分の考えを話し、学習していると思いますか。	75	173	79	10
	8	お子さんは、友だちの意見を聞き、学習していると思いますか。	89	200	34	4
「徳」の領域	9	お子さんは、自分から進んであいさつができていますか。	123	161	42	12
	10	お子さんは、場に応じた正しい言葉遣いができていますか。	98	164	66	10
	11	お子さんは、友だちと仲よく生活できると思いますか。	164	145	26	3
	12	お子さんは、自分のよさがわかりますか。	64	181	82	9
	13	お子さんは、自分以外のよさを認めることができますか。	123	172	41	2
「体」の領域	14	お子さんは、基本的な生活習慣が身についていると思いますか。	115	162	54	6
	15	お子さんは、進んで運動に親しむ習慣が身についていると思いますか。	133	119	71	14
	16	お子さんは、望ましい食習慣が身についていると思いますか。(食事のマナーや好き嫌いが無いなど)	67	161	96	14
	17	お子さんは、ルールを守り安全に登下校をしていると思いますか。	174	139	23	1
	18	お子さんは、地域等で安全に遊ぶことができると思いますか。	151	154	29	3
	19	お子さんは、ルールを守りメディア(ゲーム、動画視聴、SNS等)に触れていますか。	94	156	71	16

教員アンケートの結果

(単位:人)

NO		アンケート項目	4	3	2	1
全体に関する事	1	学級の児童は、楽しく学校に通っていると思いますか。	10	7	0	0
	2	学級の児童は、自分の将来に夢や希望を持っていますか。	3	14	0	0
	3	学校は、保護者に対して必要な情報を提供していますか。	6	11	0	0
	4	学校は、児童の安全に対して必要な指導を行っていますか。	12	5	0	0
「知」の領域	5	学級の児童は、自分から進んで授業に取り組んでいると思いますか。	4	12	0	0
	6	学級の児童は、進んで家庭学習に取り組んでいると思いますか。	2	14	1	0
	7	学級の児童は、自分の考えを話し、学習していると思いますか。	2	14	1	0
	8	学級の児童は、友だちの意見を聞き、学習していると思いますか。	5	11	0	0
「徳」の領域	9	学級の児童は、自分から進んであいさつができていますか。	1	15	0	1
	10	学級の児童は、場に応じた正しい言葉遣いができていますか。	3	13	0	0
	11	学級の児童は、友だちと仲よく生活できると思いますか。	8	8	0	0
	12	学級の児童は、自分のよさがわかりますか。	1	15	0	1
	13	学級の児童は、自分以外のよさを認めることができますか。	6	10	0	0
「体」の領域	14	学級の児童は、基本的な生活習慣が身についていると思いますか。	1	15	0	1
	15	学級の児童は、進んで運動に親しむ習慣が身についていると思いますか。	3	13	0	0
	16	学級の児童は、望ましい食習慣が身についていると思いますか。(食事のマナーや好き嫌いがないなど)	1	15	0	1
	17	学級の児童は、ルールを守り安全に登下校をしていると思いますか。	1	15	0	1
	18	学級の児童は、地域等で安全に遊ぶことができると思いますか。	2	14	1	0
	19	学級の児童は、ルールを守りメディア(ゲーム、動画視聴、SNS等)に触れていますか。	1	15	0	1

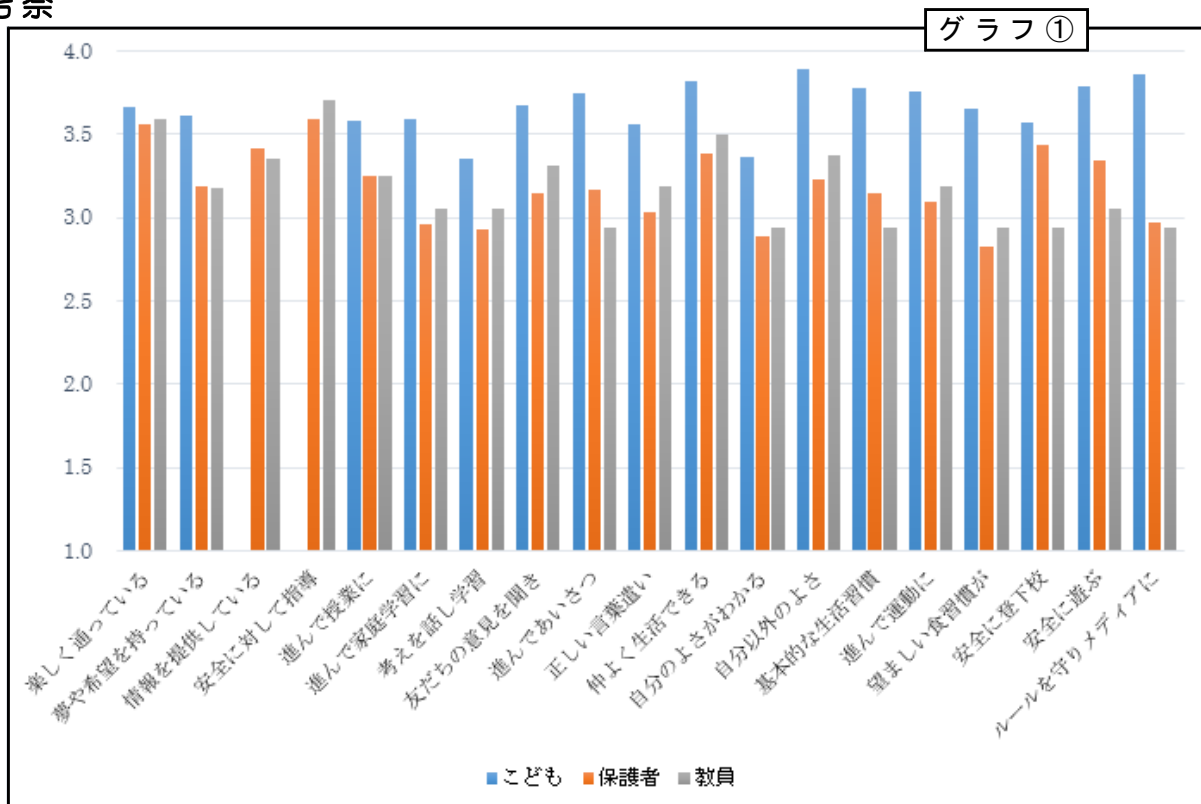
アンケートを集約した結果

アンケートの結果を、よくあてはまる＝4点、ややあてはまる＝3点、あまりあてはまらない＝2点、まったくあてはまらない＝1点として計算＜平均＞したものである。

(単位：点 4点満点)

NO	アンケート項目	児童	保護者	教員
全体に関する事	1 楽しく学校に通っていると思いますか。	3.7	3.6	3.6
	2 自分の将来に夢や希望を持っていますか。	3.6	3.2	3.2
	3 学校は、保護者に対して必要な情報を提供していますか。		3.4	3.4
	4 学校は、児童の安全に対して必要な指導を行っていますか。		3.6	3.7
「知」の領域	5 自分から進んで授業に取り組んでいると思いますか。	3.6	3.2	3.3
	6 進んで家庭学習に取り組んでいると思いますか。	3.6	3.0	3.1
	7 自分の考えを話し、学習していると思いますか。	3.4	2.9	3.1
	8 友だちの意見を聞き、学習していると思いますか。	3.7	3.1	3.3
「徳」の領域	9 自分から進んであいさつができていますか。	3.7	3.2	2.9
	10 場に応じた正しい言葉遣いができていますか。	3.6	3.0	3.2
	11 友だちと仲よく生活できると思いますか。	3.8	3.4	3.5
	12 自分のよさがわかりますか。	3.4	2.9	2.9
	13 自分以外のよさを認めることができますか。	3.9	3.2	3.4
「体」の領域	14 基本的な生活習慣が身についていると思いますか。	3.8	3.1	2.9
	15 進んで運動に親しむ習慣が身についていると思いますか。	3.8	3.1	3.2
	16 望ましい食習慣が身についていると思いますか。	3.7	2.8	2.9
	17 ルールを守り安全に登下校をしていると思いますか。	3.6	3.4	2.9
	18 地域等で安全に遊ぶことができますか。	3.8	3.3	3.1
	19 ルールを守りメディアに触れていますか。	3.9	3.0	2.9

② 考察



【全般的な傾向】

- 児童の自己評価の方が高い。
- 保護者と教員の結果がおおむね同じような傾向である。

【全体に関すること】

- 「全体に関すること」の4項目は、今年度の学校評価アンケートから、新たに設定した質問事項である。4項目ともおおむね良好な結果となった。
- 項目3「学校は、保護者に対して必要な情報を提供していますか」は、保護者・教員ともに良い結果となった。
- 項目4「学校は、児童の安全に対して必要な指導を行っていますか」は、保護者・教員とも、このアンケート中最も良い得点となった。

【「知」の領域】

- 項目5「自分から進んで授業に取り組んでいると思いますか」は、児童・保護者・教員ともに良い得点となった。
- 項目7「自分の考えを話し、学習していると思いますか」は、児童・保護者・教員ともに低い結果となった。

【「徳」の領域】

- 児童と保護者・教員の評価の差が大きくなっている。児童の評価が高い。
- 項目13「自分以外(友達)のよさを認める」は、高い得点である。
- 項目12「自分のよさがわかりますか」は、このアンケート中最も低い点数となった。

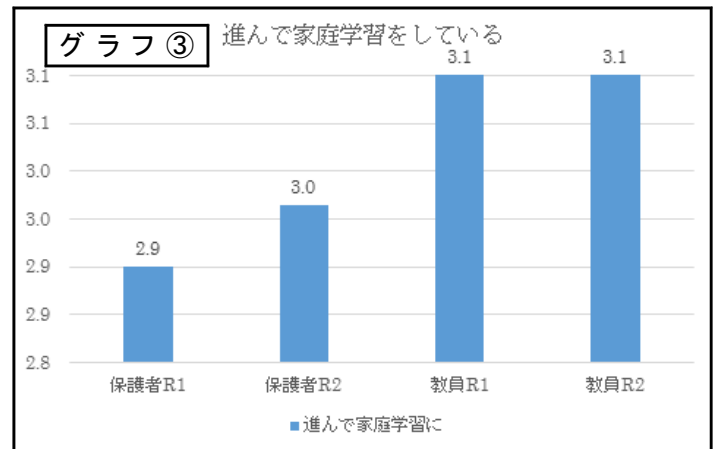
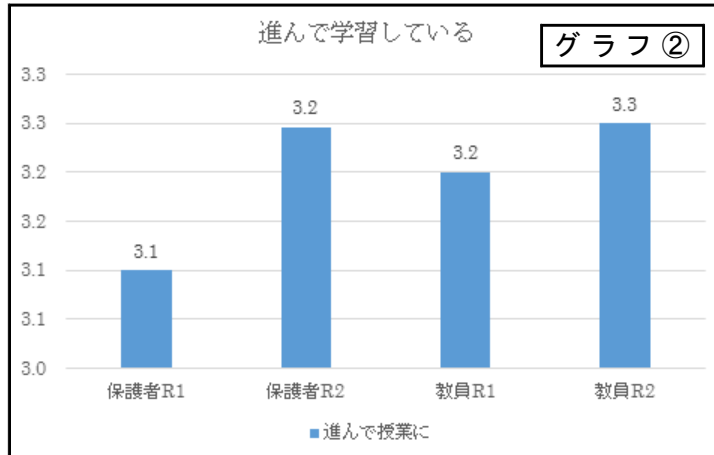
【「体」の領域】

- 児童と保護者・教員の評価の差が大きくなっている。児童の評価が高い。
- 特に項目16「望ましい食習慣が身に付いていると思いますか」と、項目19「ルールを守りメディアに触れていますか」は、点数の差がとても大きくなった。
- 項目16「望ましい食習慣が身に付いていると思いますか」は、保護者の評価が最も低い項目となった。

③ 特筆すべき点

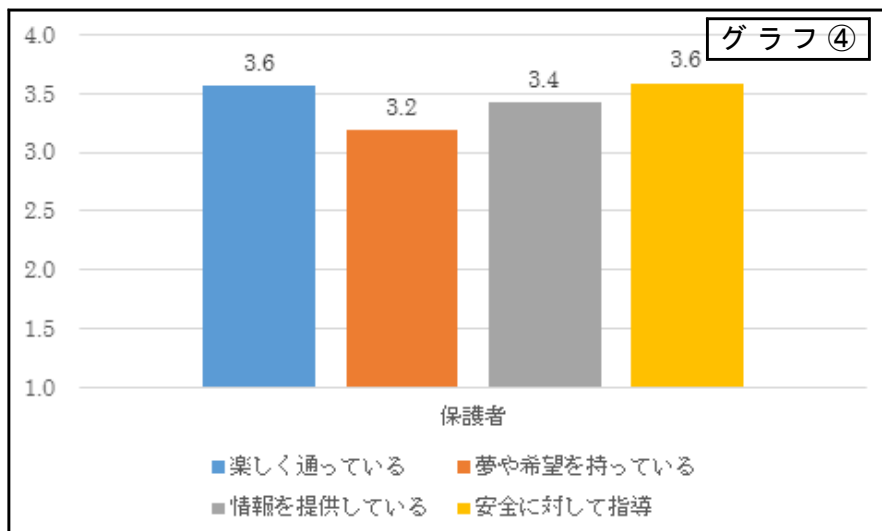
(1) プラスとして評価できること

進んで学習している・すすんで家庭学習している



○ グラフ②とグラフ③は昨年度と同じアンケート項目との比較である。【「知」の領域】「授業中進んで学習している」「進んで家庭学習をおこなっている」、いずれも今年度の方が数値が上昇している。特にグラフ③の家庭学習については、昨年度の学校評価アンケートでは評価が低かった項目である。今年度「2.9→3.0」と0.1ポイントのアップではあるが、家庭学習が定着しつつあることがわかる。

楽しく学校へ通えている



○ 保護者質問項目1「楽しく学校に通っていますか」、保護者質問項目4「児童の安全に対して必要な指導をおこなっていますか」ではそれぞれ、3.6点の評価をいただいた。(グラフ④参照)

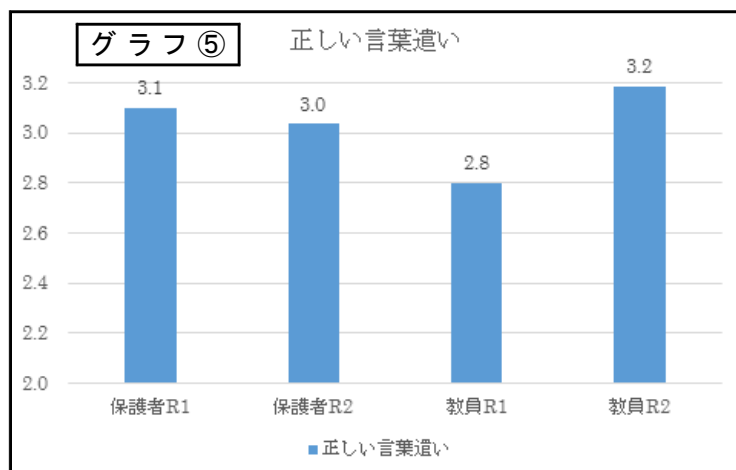
「楽しく学校に通える」ことは、極めてシンプルな表現であるが、とても重要な事柄であると考えている。「楽しく学校に通える」事は、学校として授業の充実と生徒

指導面での充実を推し量ることができる項目であると捉えてる。次年度はさらに点数が向上するよう、子ども達に「楽しさ」を与えていきたいと考えている。

安全が確保できた

○「児童の安全に対して必要な指導をおこなっていますか」の項目について。(グラフ④参照)
今年度は熱中症対応としての一斉下校(8月20日)や、度重なる不審者情報への対応策として、可能な限りの下校指導(交差点での指導、一緒に歩いての下校指導、巡回しての指導)を行ってきた。北っ子見守り隊の方々の協力は言うまでもないが、児童の安全指導、対応について評価していただけたことをうれしく思う。

正しい言葉遣いができる

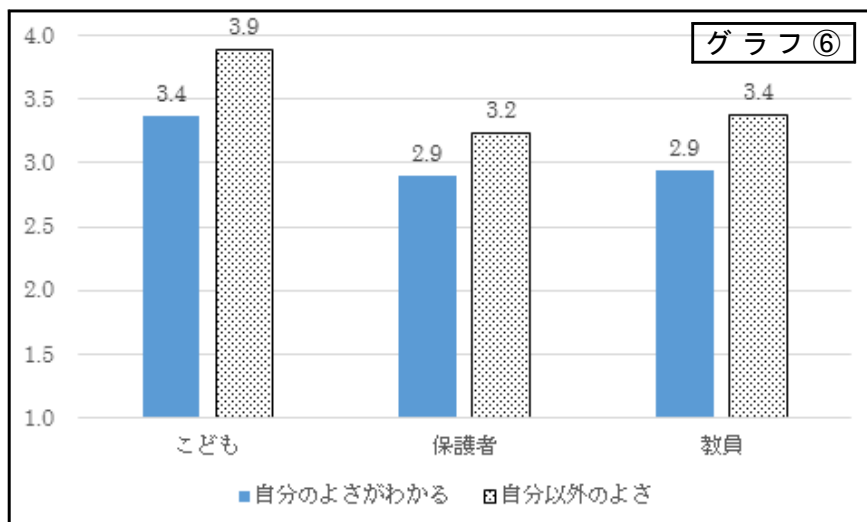


○ グラフ⑤は「正しい言葉遣いができるか」【「徳」の領域】の比較である。保護者は0.1ポイントダウンであるが、教員は0.4ポイントの大幅な増となっている。学校生活で児童の言葉遣いの向上を大きく実感していることがわかる。



(2)これからの課題

自分のよさがわかる

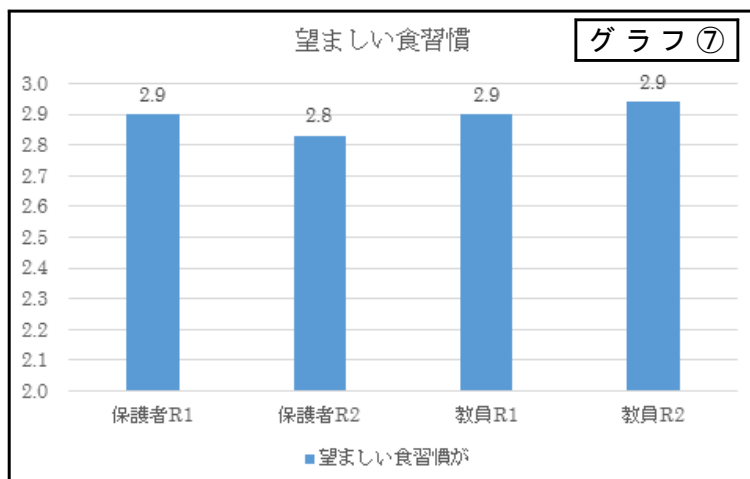


○ 児童質問項目13の「友達にもよいところがあると思いますか」に対して、347名中314名の児童が「よくあてはまる＝4点」を選択している。＜4点満点中3.9点＞これは、『互いに認め合い、支え合い、高め合う温かな人間関係がある学校』（本校の学校経営・運営ビジョンより）が達成できたことの表れとして、評価できると捉えることができる。（グラフ⑥参照）

一方、児童質問項目12「自分のよさがわかりますか」は、児童、保護者、教員それぞれが最も低い評価となった。

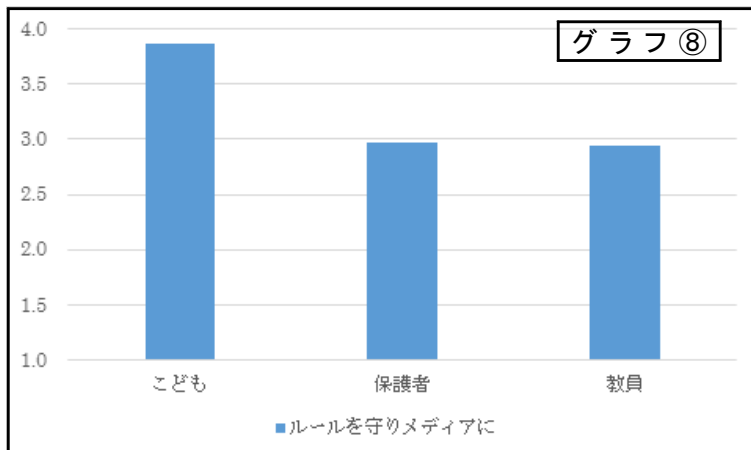
友達のよさは十分に理解できてても＜最高得点＞、自分のよさがわからない、認められないという結果であった。4月から学校だより等でも知らせてきたが、特に今年度は、自分のよさも認める、自分の頑張りも認めることについて強調してきたが、十分とは言えなかったことがこの結果からわかる。しかし、「友だちのよさがわかる」事は高得点であったことから、互いに認め合うことを更に推し進めることで、「自分のよさに目を向けることができる」とも考えている。次年度は、学校生活を通して「自分のよさ」を実感することができる指導をさら推し進めたい。

望ましい食習慣を身に付けること



○ グラフ⑦の望ましい食習慣については昨年度の学校評価アンケートでも結果が好ましいものではなかった。今年度、学校としても栄養教諭と養護教諭を中心に望ましい食習慣を作るために働きかけてきたところだが、それでも十分ではなかったことが推測できる。特に食習慣については、学校と家庭が協力を連携する必要がある部分である。次年度さらに点数が向上するよう、様々な工夫を施したい。

ルールを守ってメディアに触れる



質問項目19「ルールを守りメディアに触れていますか」は、児童の評価と保護者、教員の評価の差異が大きく、意識のずれが大きく表れた。(グラフ⑧参照)これは、「もっとやりたい」という気持ちを子ども達なりに押さえてはいても、それでもまだまだ不十分であると保護者も教員も感じていると言ったことがわかる。子ども達の将来を考えると、今後さらにパソコンやスマートフォン、タブレット端末に触れる機会が増加

することは当然である。学校と家庭が一体になり、メディアへの触れ方、活用の仕方等について指導を重ねていく必要がある。



授業中の子ども達の真剣なまなざし



< 第 2 回学校評議委員会 >

開催日時 R 3 . 2 . 1 8 1 1 : 0 0 ~ 校長室

参加者 加藤純一、安部玲子、長井周子、関 健至、後藤大介（敬称略）、校長、教頭

- 1 はじめのことば（教頭）
- 2 今年度の学校運営について<成果と課題>
（学校評価アンケートの結果を含む）
- 3 令和3年度の学校運営について
- 4 質疑・意見交換
- 5 おわりのことば（教頭）

■ 令和2年度の学校運営についての感想・質疑 ■



- コロナ対応本当にありがたく感じている。子どもたちが元気で笑顔で通っていることを嬉しく思う。
- コロナ禍でいろいろな制限がある中、色々と行事・活動を実施していただいていることがよく分かった。

- 学校休業期間中、子どもたちから「学校へ行きたい」という声を耳にした。学校が子どもたちにとって楽しい場所、かけがえのない場所だと再認識した。
- 保護者のお迎えの車が学校から出て行くときに、歩行者と接触しそうになっていた。男女共生センター駐車場利用の徹底及び注意喚起が必要である。
- 今年度は学校の教育活動やPTA活動に保護者がかかわる機会がほとんどなかった。次年度以降、できるところから活動を再開する必要がある。地域がなくなってしまうことを危惧する。
- 学校だよりの積極的な発行で学校の様子が伝わってきた。ありがたい。安心できた。
- 「新しい校長先生ってどんな顔？」という声を聞いた。全体の前で話す機会やマスクを外して話す機会がないことが影響しているのかと思った。是非、紹介を。
- 保護者の皆さんも「コロナ対応」で疲れている。
- 元気で素直な子どもがいっぱいである。学校を楽しみにしている様子が伝わってくる。
- 登校時のあいさつの声が大きくなったように感じる。大変気持ちのいいあいさつができるようになってきている。

■ 給食はどのように食べているのか。安全面は大丈夫か。

- 前を向いて、基本「黙食」で食べている。飛沫感染には十分留意している。

■ 令和3年度に向けた意見・要望 等 ■

- 学校前の横断歩道で止まらない車が見られる。大いに注意が必要。
- 次年度も「コロナ禍」が予想される。その中でも、思い出に残ることをできるだけ実施してほしい。子どもたち、先生方、保護者で作っていききたい。
- 「子ども第一の学校」の継続を強く期待する。北小の伝統の継承を忘れないでほしい。
- 先生方には、教育に対する「熱量」を期待している。
- 子どもが毎日学校に来れることが大事。学校に来れば、なんとかなると感じる。
- 子どもたちが「笑顔」で「パワー全開」の学校であってほしい。
- 自己存在感を感じる子どもの育成をお願いしたい。

